

# 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月10日

**新日本空調株式会社**



1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 P. 2
2. 2024年3月期 連結業績予想・株主還元 P. 9
3. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II（2023～2025年度）進捗状況 P. 1 2



# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 連結業績サマリー

(単位：百万円、%)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期増減	前年同期比
受注高	62,849	65,538	82,265	16,726	25.5
完工高	41,279	43,952	46,969	3,017	6.9
完工総利益	5,581	5,784	5,376	△408	△7.1
完工総利益率	13.5	13.2	11.4	△1.8	—
営業利益	2,346	2,147	1,415	△731	△34.1
経常利益	2,633	2,785	1,690	△1,095	△39.3
当期純利益※	1,826	1,884	1,129	△754	△40.0
繰越高	89,975	99,470	131,815	32,344	32.5

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

**【受注高】** 国内・海外ともに大型産業案件が寄与し、大幅に増加。

**【完工高】** 新築分野が保健・産業案件ともに増加。

国内・海外ともに関係会社も順調に進捗し、連結での増収基調継続。

**【利益】** 完工総利益は、前期は施工効率化等による好採算の案件が上期に進捗、今期計画では下期に集中して進捗することから、前年同期比減益。人的資本への積極投資を主因とする販管費増もあり、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期比減益。

# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

資産の部	2023年3月期 期末	2024年3月期 第2四半期	増減	負債・純資産の部	2023年3月期 期末	2024年3月期 第2四半期	増減
現金預金	25,004	10,886	△14,117	支払手形・工事未払金等	31,646	20,685	△10,961
受手・完工未収入金等	54,278	44,605	△9,672	短期借入金	3,433	1,366	△2,067
その他	2,247	4,629	2,381	その他	13,537	6,539	△6,997
流動資産 計	81,530	60,122	△21,408	流動負債 計	48,618	28,592	△20,025
有形固定資産	2,628	2,269	△358	固定負債 計	2,315	3,033	718
無形固定資産	1,062	1,105	42	負債 合計	50,933	31,626	△19,307
投資その他の資産	23,924	26,139	2,216	株主資本	48,751	47,124	△1,626
（投資有価証券）	(21,989)	(24,276)	(2,287)	その他	9,461	10,887	1,426
固定資産 計	27,615	29,515	1,900	純資産 合計	58,212	58,012	△200
資産 合計	109,146	89,638	△19,508	負債・純資産 合計	109,146	89,638	△19,508

【資産】 現金預金減少（△14,117）、受取手形・完成工事未収入金等減少（△9,672）、投資有価証券増加（+2,287）など。

【負債】 支払手形・工事未払金等減少（△10,961）、短期借入金減少（△2,067）、その他（納税等）減少（△6,997）など。

【純資産】 四半期純利益（+1,129）、配当金支払（△1,401）、自己株式取得（△1,399）、その他有価証券評価差額金（+1,060）など。

# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績

## 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第2四半期	2023年3月期 期末	2024年3月期 第2四半期
営業活動によるC/F	7,004	3,703	12,820	△8,613
投資活動によるC/F	414	△356	△1,168	△733
財務活動によるC/F	△4,413	△3,399	△2,266	△5,144
現金及び現金同等物の期末残高	15,435	15,540	24,927	10,809

【営業C/F】仕入債務の減少による支出が売上債権の減少による収入を上回ったこと、および大型案件の引き渡しによる消費税の支払等により△8,613。

【投資C/F】投資有価証券および固定資産の取得による支出△733。

【財務C/F】短期借入金の返済、配当金の支払および自己株式の取得による支出△5,144。

# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 分野別受注高

(単位：百万円、%)

			2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比
個別	国内一般	新築	22,361	14,123	27,316	93.4
		リニューアル	28,730	34,511	33,391	△3.2
	原子力		4,407	5,862	6,491	10.7
個別受注高			55,500	54,497	67,199	23.3
関係 会社	国内		4,059	4,278	5,222	22.1
	海外		3,290	6,762	9,843	45.6
連結受注高			62,849	65,538	82,265	25.5
(内、産業)			33,614	33,305	53,456	60.5

【個別】 新築分野は、半導体、データセンター等の業種を中心に大型産業案件を受注し、大幅増加。

リニューアル分野は、保健案件が順調に進捗し同水準で推移。

原子力分野は、大型産業案件を受注し増加。

【関係会社】 国内・海外ともに産業案件を中心に大幅増加。

# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 分野別完工高

(単位：百万円、%)

			2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比
個別	国内一般	新築	13,303	14,608	16,438	12.5
		リニューアル	18,836	20,316	19,430	△4.4
	原子力	2,527	2,886	2,818	△2.4	
個別完工高			34,667	37,811	38,687	2.3
関係 会社	国内		3,330	2,599	3,185	22.5
	海外		3,281	3,541	5,096	43.9
連結完工高			41,279	43,952	46,969	6.9
(内、産業)			21,456	22,050	24,472	11.0

【個別】 新築・リニューアル分野ともに施工体制の適切な構築・運営を徹底し、工事が順調に進捗。

【関係会社】 国内・海外ともに産業案件が順調に進捗。

# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 分野別繰越高

(単位：百万円、%)

			2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比
個別	国内一般	新築	38,479	36,582	55,977	53.0
		リニューアル	30,359	34,020	39,402	15.8
	原子力		9,893	11,045	11,637	5.4
個別繰越高			78,733	81,648	107,017	31.1
関係 会社	国内		2,816	3,805	5,006	31.6
	海外		8,424	14,016	19,791	41.2
連結繰越高			89,975	99,470	131,815	32.5
(内、産業)			38,291	44,659	76,650	71.6

【個別】 新築分野は、産業案件において完成工事高を大幅に上回る大型受注があったことから、繰越高も大幅に増加。

リニューアル分野も、保健案件を中心に高水準の繰越高を確保。

原子力分野の繰越高も高水準で推移。

【関係会社】 国内・海外ともに豊富な工事量を確保。



# 1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績

## 四半期別 分野別 受注高・完工高

(単位：億円、%)

				受注高					完工高				
				2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比
				四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計	
1 Q	個別	国内一般	新築	73	73	137	137	86.2	79	79	66	66	△16.8
			リニューアル	147	147	188	188	28.4	96	96	104	104	9.2
		原子力	36	36	14	14	△61.4	13	13	12	12	△4.9	
	個別合計			257	257	340	340	32.1	188	188	183	183	△2.7
	関係会社	国内		18	18	21	21	15.5	12	12	14	14	15.9
海外		21	21	75	75	251.2	17	17	17	17	0.7		
連結合計			298	298	437	437	46.8	217	217	214	214	△1.4	
2 Q	個別	国内一般	新築	67	141	136	273	93.4	66	146	98	164	12.5
			リニューアル	198	345	145	333	△3.2	107	203	90	194	△4.4
		原子力	21	58	50	64	10.7	15	28	16	28	△2.4	
	個別合計			287	544	331	671	23.3	189	378	203	386	2.3
	関係会社	国内		23	42	31	52	22.1	13	25	17	31	22.5
海外		46	67	23	98	45.6	18	35	33	50	43.9		
連結合計			357	655	385	822	25.5	221	439	255	469	6.9	
3 Q	個別	国内一般	新築	226	367				85	232			
			リニューアル	113	458				142	346			
		原子力	8	67				18	47				
	個別合計			348	893				247	625			
	関係会社	国内		22	64				16	42			
海外		54	122				20	55					
連結合計			425	1,080				284	723				
4 Q	個別	国内一般	新築	44	411				99	331			
			リニューアル	138	596				194	540			
		原子力	10	78				32	79				
	個別合計			193	1,087				326	951			
	関係会社	国内		24	89				37	80			
海外		10	132				34	89					
連結合計			228	1,308				398	1,122				

1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 P. 2
2. 2024年3月期 連結業績予想・株主還元 P. 9
3. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023~2025年度) 進捗状況 P. 1 2



## 2. 2024年3月期 連結業績予想・株主還元 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2023年3月期 第2四半期実績		2023年3月期 実績		2024年3月期 第2四半期実績		2024年3月期 予想	
受注高	65,538	—	130,869	—	82,265	—	125,000	—
完工高	43,952	—	112,234	—	46,969	—	123,000	—
完工総利益	5,784	13.5%	15,676	14.0%	5,376	11.4%	16,900	13.7%
営業利益	2,147	4.9%	7,124	6.3%	1,415	3.0%	7,700	6.3%
経常利益	2,785	6.3%	7,914	7.1%	1,690	3.6%	8,100	6.6%
当期純利益 ※	1,884	4.3%	5,597	5.0%	1,129	2.4%	5,700	4.6%
ROE	—		10.0%		—		9.5%	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

【受注高】 第2四半期までは計画を上回る進捗ながら、今後の施工体制等も勘案、期初予想据置。

【完工高】 若干の期ずれがあるもののほぼ計画通りに進捗しており、期初予想据置。

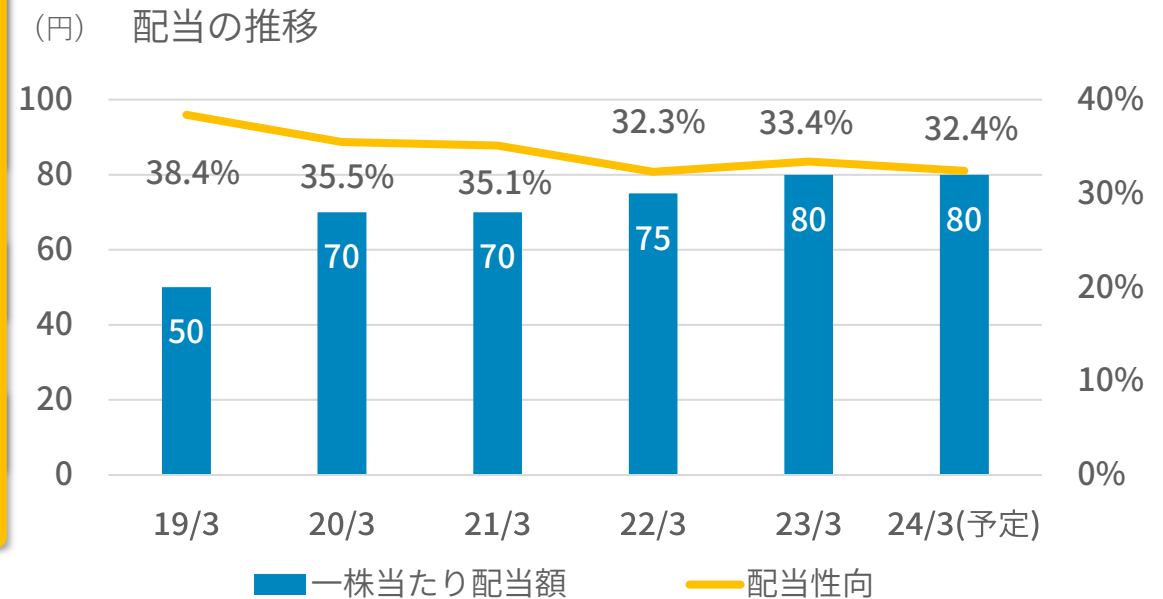
【利益】 複数の大型案件が期初計画通り下期に進捗することから、期初予想据置。

## 2. 2024年3月期 連結業績予想・株主還元 株主還元

### 配当予想

		2022年 3月期 実績	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想
年間 配当 金	第2四半期末 (円)	20	20	(実績) 30
	期末 (円)	55	60	50
	合計 (円)	75	80	80
連結配当性向 (%)		32.3	33.4	32.4
DOE (株主資本配当率) (%)		4.1	4.0	3.6

【注】2022年3月期 期末配当には特別配当10円を含む  
2023年3月期 期末配当には特別配当 5円を含む



### 株主還元方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、安定的に株主の皆様へ還元するため、引き続き利益配分に関する基本方針として、**連結配当性向 30.0%以上またはDOE (株主資本配当率) 3.0%を下限として、還元してまいります。**

更なる株主還元については、今後の投資等を考慮しつつ、機動的に実施することとします。

1. 2024年3月期第2四半期 連結決算実績 P. 2
2. 2024年3月期 連結業績予想・株主還元 P. 9
3. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023~2025年度) 進捗状況 P. 1 2



## 中期経営計画SNK Vision 2030 Phase II (2023~2025年度) の位置づけ

企業価値

「社会の持続性に貢献」と  
「経営の持続性強化」の両立

2030年における事業規模 (目標)

事業規模 1,300~1,500億円  
営業利益率 10.0%以上  
ROE 10.0%以上

10年ビジョン  
「SNK Vision 2030」

企業理念

使命

Fill your tomorrow  
社会と自然の調和を育み、  
未来へ向けた思いを満たす。

価値観

調和、探求、真摯、絆

Phase III

Phase II

Phase I

5つの基本戦略

事業基盤増強戦略

収益力向上戦略

デジタル変革戦略

企業統治戦略

人的資本戦略

2020年

2023年

2026年

2030年

未来

## 経営数値目標

(単位：百万円、%)

	2023年3月期 実績		2026年3月期 目標	
受注高	130,869	—	135,000	—
完工高	112,234	—	130,000	—
営業利益	7,124	6.3%	9,000	6.9%
経常利益	7,914	7.1%	9,400	7.2%
当期純利益 ※	5,597	5.0%	6,600	5.1%
ROE	10.0%		10.0%以上	

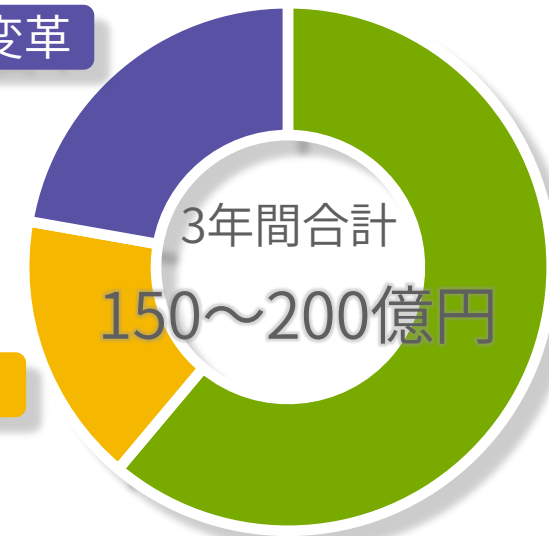
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

## 投資計画

将来の成長に向けて、  
3年間合計で150~200億円を投資

デジタル変革

人的資本



R&D  
成長事業  
設備  
環境

## 事業基盤増強戦略 主な取り組み内容

### 当社の強みの深化

原子力分野における一層の差別化

- 千葉大学災害治療学研究所との共同研究を開始  
→放射線災害治療学研究をテーマとした放射線災害に対応する安全な医療体制と空調設備の研究
- 原子力施設の新規制基準対応の継続

### ソリューションサービスの展開強化

微粒子可視化用の超高感度カメラ「パーティクルアイ®」の開発・販売開始

- 独自画像処理技術を搭載した専用高感度カメラ3モデルを開発、販売開始



新型カメラ「パーティクルアイ」ラインナップ

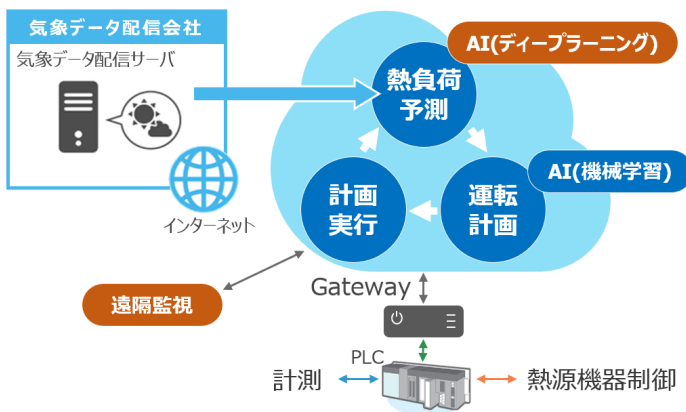


## 事業基盤増強戦略 主な取り組み内容

### 成長分野への事業領域の拡大

熱源最適制御システムEnergyQuest®の進化

- EnergyQuest®Cloudの市場投入  
→クラウド化による利便性の向上、AI機能追加による熱負荷予測を向上
- 分析評価ツール、熱源シミュレーションツールを年内に市場導入予定



### 海外事業の安定化・機動的展開

新たな事業地域への進出

- 東アジア・東南アジア地域における新拠点設立方針を決定



### イノベーション推進

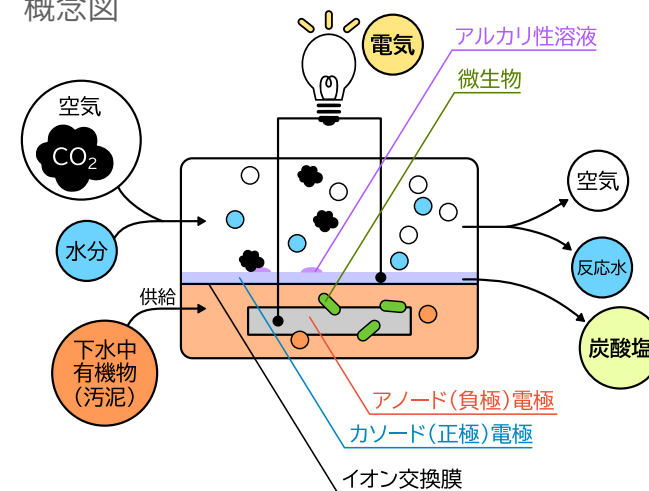
推進体制の整備・運用

- イノベーション推進組織の設立  
→技術の高度化、技術開発・新分野開拓の推進

低炭素社会実現に向けた取り組み

- 二酸化炭素ガス回収・固定化技術のフィールド試験実施

概念図

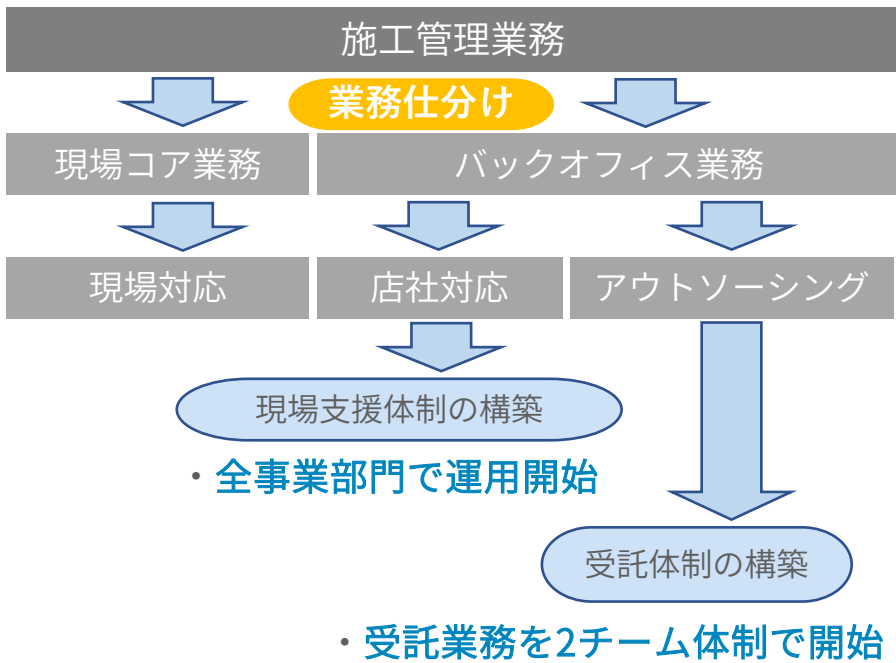


## 収益力向上戦略 主な取り組み内容

### 業務プロセスの効率化

業務仕分けによる分業体制の確立

- ・ **施工管理業務分業化の運用を開始**  
→現場収益性、現場機動力の確保に向けた業務プロセスの見直し



### サプライチェーンの持続性向上

ステークホルダーとの価値協創

- ・ 「マルチステークホルダー方針」  
「パートナーシップ構築宣言」を公表

取引先への支払い条件の変更

- ・ **現金払いの促進、支払サイトの短縮方針決定**

### 現場プロセスの効率化

場外加工場の活用による効率化、省力化の推進

- ・ **場外加工場2拠点での本格運用を開始**
- ・ **新拠点設立を計画**  
→運搬の集約化による配送効率の向上と環境負荷の低減  
→施工のオフサイト化  
→RFID活用による物流管理効率化

## デジタル変革戦略 主な取り組み内容

### ナレッジマネジメントシステムの構築

当社独自のナレッジシステムの開発と推進

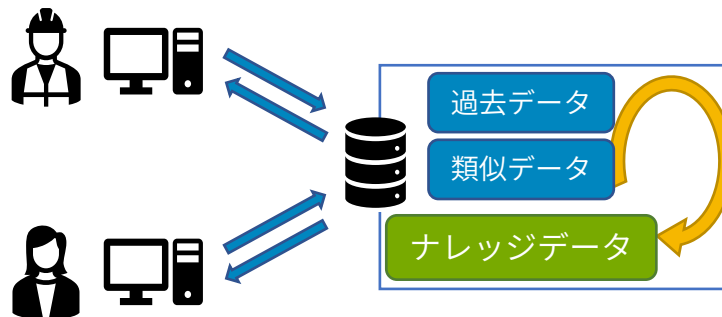
- ・ AIと当社の保有ナレッジを活用したシステムの開発に着手



### 現場ICTの推進

業務改善ツールによる施工管理のデジタル化

- ・ 施工管理帳票の移行とデジタル活用を開始  
→2023年度中に完全移行予定



- ・ 360度カメラ活用による遠隔管理を現場で運用開始
- ・ 3Dスキャンを活用したBIM化拡大
- ・ 電子購買システムの活用拡大  
→国内関係会社での運用開始
- ・ BIM/積算連携システム構築の開発に着手  
→2024年度運用開始予定

- ・ モバイル入退場管理システムの開発と運用を開始

## 企業統治戦略 主な取り組み内容

### ESG経営の推進

新たな中期経営計画と連動したマテリアリティを再定義

経営課題に取り込むべきマテリアリティ

テーマ	基本課題	マテリアリティ	E・S・G	基本戦略
社会課題の解決を図り、 社会の持続性に貢献	1. カーボンゼロへ向けた積極的な地球環境への貢献	1-1. GHG排出量による地球温暖化防止 1-2. 自然環境（水・大気の汚染）保護と共生	E 環境	事業基盤増強戦略
	2. 技術革新の推進	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供 2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発 2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進		S 社会
	3. 現場力（安全品質確保、サプライチェーンとの関係、技術力）の強化	3-1. 労働災害の撲滅 3-2. サプライチェーンの強化 3-3. 生産性の向上	事業基盤増強戦略	
事業活動の推進や、 経営の持続性強化	4. 従業員エンゲージメントの向上と人権の尊重	4-1. 健康経営、ワーク・ライフ・バランスの推進 4-2. 次世代を担う人材育成 4-3. ダイバーシティとインクルージョン 4-4. 人権の尊重 4-5. ステークホルダーとの対話促進	G ガバナンス	収益力向上戦略
	5. 企業倫理の徹底	5-1. コンプライアンス 5-2. リスクマネジメント 5-3. 情報セキュリティ 5-4. 公正な事業慣行		デジタル変革戦略
				企業統治戦略
				人的資本戦略
				企業統治戦略

## 人的資本戦略 主な取り組み内容

### 働き方改革の推進

#### ワークライフバランスの充実

- 健康経営宣言に基づく体制の確立  
→メンタルヘルスのサポート強化として保健師を増員
- 多様な働き方の推進  
→テレワーク制度のフレキシブル化  
→執務環境の改善を全事業所に実施
- 健康経営優良法人の取得を継続



※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

### 社員エンゲージメントの向上

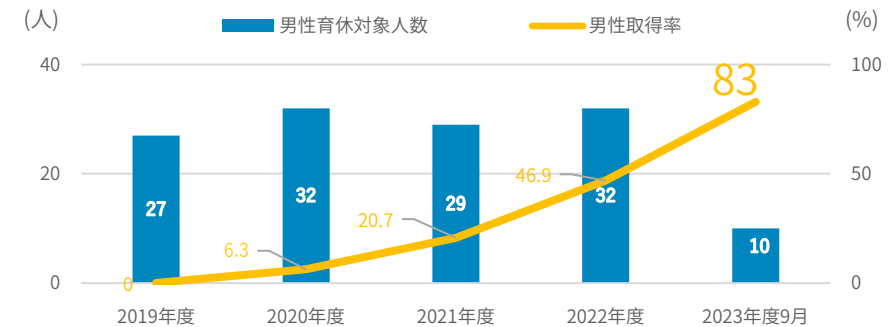
#### エンゲージメントの可視化

- 意識改革、組織改善に向けエンゲージメントの測定を開始

### ダイバーシティ & インクルージョンの推進

#### 男性が育児休業を取得しやすい風土づくり

#### 男性育児休業の取得率推移



#### 障がい者雇用の促進

- 雇用促進する各種施策を実施

#### 女性が働きやすい環境づくり

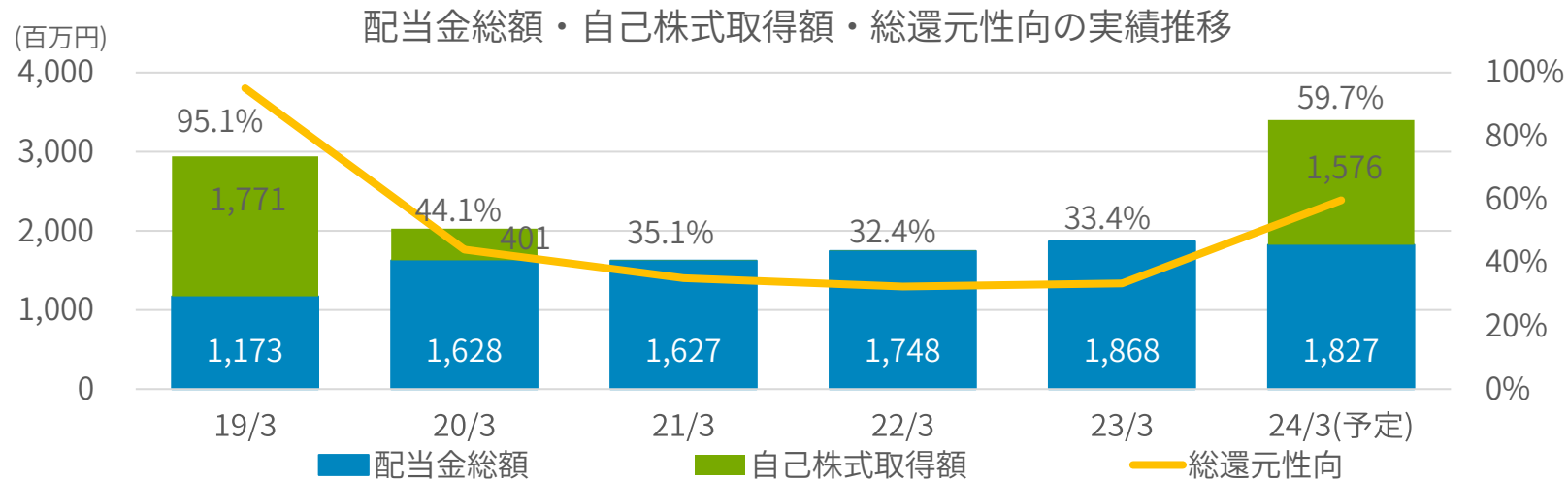
- 女性活躍実現に向けた意見交換会などを実施  
→技術系女子会、みんなでバタフライ (女性活躍浸透活動)

## 投資計画 主な実績

R&D・成長事業・設備・環境	デジタル変革
<p>R &amp; D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術開発研究所による技術開発の継続</li> <li>・原子力施設向け 耐震型ノンフロンターボ冷凍機の開発に着手</li> <li>・熱源最適制御システム EnergyQuest®シリーズの機能拡充</li> </ul>	<p>D X の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新基幹システムの開発</li> <li>・施工管理、業務改善ツールの開発</li> <li>・発注管理システムの関係会社への導入</li> </ul>
<p>E S G 投資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人日本学生支援機構 発行の「ソーシャルボンド」へ投資</li> <li>・一般財団法人カーボンリサイクルファンドの植林ファンドへ投資</li> <li>・グリーンボンドへの投資</li> </ul>	
<p>職場環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な働き方に対応した執務環境の改善を全事業所で実施</li> </ul>	<p>人的資本</p> <p>人材育成・処遇向上・インセンティブ強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成のための各種教育研修の拡充</li> <li>・給与水準の引き上げ</li> <li>・物価上昇に伴う特別手当の支給</li> <li>・譲渡制限付株式の付与</li> </ul>

## 株主還元

自己株式取得による株主還元



## 資本政策

政策保有株式に関する方針

当社は、良好な取引関係の維持・連携強化を図るうえにおいて、当社の企業価値の向上を実現する観点から、必要と判断する企業の株式を保有することがあります。

こうした株式の保有については、取締役会で個別銘柄ごとに保有目的、取引状況、保有リスクを勘案しつつ、便益性と資本コストを総合的に検証し、保有または売却の要否を判断しておりますが、2025年度末までには、**2022年度末比で、20%の縮減を目指してまいります。**

## 免責事項

ここに記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等のうち歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。

各種データ・資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

## お問い合わせ先

新日本空調株式会社  
経営企画室 企画・サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーション課  
担当：福安 麻美子  
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号 浜町センタービル  
TEL：03-3639-2701 FAX：03-3639-2731 Mail：fukuyasum@snk.co.jp



# SUSTAINA-FULL!

エンジニアリングで、人と自然に満ちたりた調和を。



私たちが暮らす社会の持続には、  
自然界とのベストバランスの  
維持が欠かせません。  
果てなきサステナブルへ。  
SNKはエンジニアリングパワーで、  
人と自然、社会と地球の  
あるべき調和を追求します。

Fill your tomorrow

**snk**  
新日本空調株式会社